

その後、当社の高圧電源車をもう一台配置し、2台並列に接続して送電する準備を進めた。

- ・ 電源車と高圧側ケーブルの接続部分は、触れると感電するおそれがあるので、現場にあった枠組み足場を集めて、応急の接近防止用の枠を設置。
- ・ 12日10:15頃、当社及び東北電力が派遣した電源車72台が福島に到着していることを確認。両社合わせて、高圧電源車は福島第一12台、福島第二42台、低圧電源車は福島第一7台、福島第二11台。その他、自衛隊の低圧電源車4台が到着していた。
- ・ 高圧電源車から2号機P/C(2C)動力変圧器までの高圧側ケーブル敷設、2号機P/C(2C)予備遮断器から1号機P/C(1C)及びP/C(1D)までの低圧側ケーブル敷設が完了。
- ・ 12日昼頃に高圧側ケーブル、14:10に低圧側ケーブルの接続が完了。その後、P/C遮断器投入の準備も完了し、送電の準備が全て整ったことから、15:00頃、配電班は高圧電源車を起動した。
- ・ 復旧班と協力企業はP/C(2C)の前で待機していると、動力変圧器の励磁音が鳴り始めて、送電が開始されたことを確認した。まずP/C(2C)の上流側にある受電遮断器を手動にて投入し、P/C(2C)の受電を開始。続いて、P/C(2C)の下流側にある遮断器を手動にて投入し、1号側への送電を開始。1号機側へ移動して計器を用いてP/Cの電圧と相順を測定し、問題なく1号側まで送電出来ていることを確認した。
- ・ その後、復旧班及び配電班は電源車の調整を行い、12日15:30頃に調整が完了。PHSがつながる場所まで移動し、発電所対策本部へ作業の終了連絡をしていたところ、1号機原子炉建屋が爆発した。

<1,2号機計測用電源の復旧>

- ・ 12日8:00頃、復旧班4名は、1,2号機計測用電源の復旧のため現場に出発。1,2号機サービス建屋内入口エリアに小型発電機を配置し、1号機と2号機のコントロール建屋1階のケーブルボルト室まで電工ドラム6,7台をつなぎ合わせて敷設。12日15:00頃、最終端の電工ドラムのケーブルを端末処理して1,2号機それぞれの計測用分電盤に接続し、送電を開始した。

【3,4号機の電源復旧作業】

- ・ 1,2号のケーブル準備に続き、3,4号機の電源復旧のために、発電所構外企業事務所から高圧側ケーブルをドラムごとユニック車で運搬し、2,3号機間の道路脇に仮置き。電



高さ約2mのケーブルドラム（後日撮影）